

「〈教育と社会〉を研究する —多様性と移動の視点から—」

第1部 2018年**12月7日(金)** 13:00～18:15

1. 第1レクチャー 13:05～13:45

「〈教育と社会〉研究へのアプローチ:文化間関係への着目」

特別講師 太田 美幸 (一橋大学大学院教授)

2. 第2レクチャー 13:45～14:10

「アメリカ人種・民族問題と多文化教育の理念」

高橋 靖幸 (新潟県立大学)

3. 研究報告 14:45～15:15

「米国南部黒人教育モデルの移動」 荒木 和華子 (新潟県立大学)

4. 第1ワークショップ 15:35～16:15

講師 谷川 由佳 (一橋大学大学院博士後期課程)

第2ワークショップ 16:25～17:05

講師 川尻 剛士 (一橋大学大学院博士後期課程)

第3ワークショップ 17:05～17:45

講師 横山 陸 (一橋大学大学院博士後期課程)

第2部 2018年**12月8日(土)** 10:00～12:00

第4ワークショップ 10:00～11:50 県大生による研究発表

講師 太田 美幸、谷川 由佳、川尻 剛士、横山 陸

開催場所：新潟県立大学 1352教室

お問い合わせ先：荒木 和華子 arakiw@unii.ac.jp (要申込)

※本セミナーは、科学研究費助成事業(課題番号25870602)の助成により実施されます。

ゲスト講師 プロフィール

太田 美幸 Miyuki Ohta

一橋大学大学院社会学研究科教授
教育社会学(ノンフォーマル教育/比較教育/学習社会)

著書『生涯学習社会のポリティクス』(新評論、2011年)、著書『スウェーデン・デザインと福祉国家』(新評論、2018年)、共編著『ノンフォーマル教育の可能性』(新評論、2013年)、共編著『ヨーロッパ近代教育の葛藤』(東信堂、2009年)、共著『社会教育福祉の諸相と課題: 欧米とアジアの比較研究』(大学教育出版、2015年、分担執筆「第14章 スウェーデンにおけるセツルメント運動の歴史と現状」)、翻訳『イケアとスウェーデン』(新評論、2015年)、翻訳『政治のなかの保育』(かもがわ出版、2010年)など。

谷川 由佳 Yuka Tanikawa

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程
教育社会学(青年の移行期に関する研究/在日外国人青年の自立経験)

論文「第1.5世代・第2世代青年の進路選択: 在日ペルー人青年の事例から」(2014年、一橋大学大学院社会学研究科2013年度修士論文、2014年)、口頭発表「ニューカマー青年の移行期: 在日ペルー人青年たちの「自立」の模索」(日本教育社会学会第67回大会、2015年)、書評「『朝鮮学校物語』日本版編集委員会編、『朝鮮学校物語』」(『教育』2016年2月号)。

横山 陸 Riku Yokoyama

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程
教育社会学(ジェンダー/セクシュアリティ研究)

共著書『ジェンダー研究を継承する』(2017年、人文書院、分担執筆)、口頭発表「地方出身ゲイ男性のトランジション: 「地域」への意味づけに着目して」(日本教育社会学会第70回大会、2018年)、論文「異性愛主義とコミュニティのあいだで: ゲイ男性・バイセクシュアル男性の自己形成」(一橋大学大学院社会学研究科2016年度修士論文、2017年)など。

川尻 剛士 Tsuyoshi Kawajiri

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程
環境教育学(公害教育/公害病患者のライフヒストリー研究)

論文「水俣病患者の「水俣病を伝える」実践に関する史的研究: 杉本栄子のライフヒストリーに着目して」(埼玉大学大学院教育学研究科2017年度修士論文、2018年)、論文「原発開発に消えた学校: 東通村立小田野沢小学校南通分校教師・濱田昭三に着目して」(『下北半島の未来を紡ぐ: 地域、民主主義、教育』民主教育研究所年報、第18号、2018年)。